

# ちくさええとこ通信

2020.5.15 発行

No.16

## ご入学おめでとうございます

みんな元気にしてるかな～

ピッカピカのちくさっ子！  
いっぱい遊べちくさっ子！  
いっぱい学べちくさっ子！  
でっかい夢に向かって  
羽ばたけちくさっ子！  
みんなーがんばれー！！



は、入園式が出来ませんでした



# ちくさ杉の子こども園

例年なら、暖かく気持ちのよい陽気と共に、子ども達の笑顔が見られる季節。しかし、『緊急事態宣言』により、幼稚園部が休業、保育園部が希望保育となり、みんなそろっての新年度がなかなかスタートできず、始業式・入園式が延期の状態です。

早くみんなと一緒に、自然の中でのびのびと遊びたいな。



おいしょ、おいしょ

☆ボルダリングに挑戦している1歳児



やったあ～登りきったよ

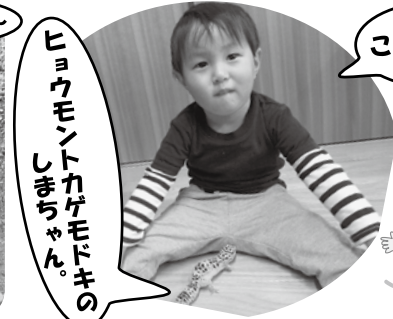


あれはなんだ？



おととととと～

上手にできた



こわくないよ

ヒョウモントカゲモドキのしまちゃん。

わ  
れ  
ら  
ち  
く  
さ  
の  
こ  
っ  
子

## ちくさを学ぶ ちくさで学ぶ

「ちくさの人やもの」とかかわって学び  
「ふるさと千種」を愛する心を育てています

## 千種小学校

4月7日(火)

### ☆令和2年度 千種小学校 入学式



9名の新入生を迎え、入学式を行いました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、縮小しての実施となりました。しかし、新入生は元気いっぱい、名前を呼ばれると、はっきりとした大きな声で返事をする事ができました。また、しっかりと前を向いて校長先生や来賓の方の話を聞き、小学校生活をとても楽しみにしているように見えました。長い臨時休業が続きますが、一日も早く学校が再開されるのを児童も教師も楽しみにしています。



4月9日(木)

### ☆ファミリー班出会いの式



千種小学校では、縦のつながりを大切にするため、全校児童を8つのグループ(ファミリー班)に分けて活動しています。様々な行事、授業、清掃などでこのグループを活用しています。9日には、グループのメンバーが発表され、出会いの式がありました。6年生が最高学年となって初めて1年生から5年生の児童に指示を出し、会を進行します。少し緊張気味でしたが、しっかりと役割を果たす事ができました。みんなで力を合わせて、素晴らしい学校をつくってほしいです。



# 入学・進級おめでとう

4月7日、令和2学年度宍粟市立千種中学校第74回入学式が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式は縮小して行われましたが、「千中家族」の新たな一員となる16名の新入生を無事に迎えることができました。

また、新しく校長先生をはじめ6名の先生方が着任されました。これから、いっしょに千種中学校を盛り上げていきましょう。

## 〈新たな決意 ～大きな飛躍へ～〉

私は、中学生になるのを楽しみにしていた半面、初めてのこともたくさんあって、ドキドキしている自分もいます。私の目標は勉強と部活動を両立させることです。あと、いろいろなことに諦めずに挑戦し、成長したいです。

(1年生 田中 彩也音)

1年生では、あいさつ、メリハリのついた行動を意識して過ごしました。また、様々な体験を通して何事にも積極的に取り組むことができたと思います。そんな私も2年生になりました。まだ実感がないけど、私なりにできることは精一杯頑張りたいです。最初はつまずくと思うけど、クラスのみんなで協力しながら頑張りたいです。

(2年生 平瀬 葵葉)



私は3年生になって、この1年間の目標を「最高の1年にする」にしました。そのための小さな目標をいくつか立てて、この大きな目標を達成したいと思います。私は、様々な行事、普段の授業や部活動を、これまで以上に頑張っていて、最後の卒業する時に、クラス全員で悔いなく笑顔で終われるような1年にしたいです。

(3年生 田口 恭子)

## 千種高校



### 「チッチとクックの飛び出し坊や作成」

2月20日(木)、2年生アクティブの授業で、地域貢献として飛び出し注意を呼び掛ける看板(飛び出し坊や)を作りました。モデルは千種高校イメージキャラクターのチッチとクックです。千種の飛び出し坊やとして、町内の皆さんの目に留まり、交通安全に繋がることがを願っています。



### 「スキー部 インターハイ出場」

2月3日(月)～2月7日(金)、新潟県妙高市の赤倉観光リゾートスキー場にて第69回全国高等学校スキー大会が開催されました。本校からは、アルペン競技の男子ジャイアントスラロームと男子スラロームの2種目で山本大央君(3年)が、クロスカントリー競技の女子5kmフリーと女子5kmクラシカルの2種目に、池部黄那さん(1年)と越此凜さん(1年)が出場しました。雪不足のため、雪上で練習が十分できなかった中、しっかりと本番で成果を残しました。



### 「第45回卒業証書授与式」

2月28日(金)、第45回卒業証書授与式を挙行し、男子22名、女子13名、計35名が千種高等学校を卒業しました。45回生は学級担任の清水先生を筆頭に、明るく元気な学年でした。

3年間、いつも清水先生の呼名により1日をスタートさせていた生徒たちは、卒業式で最後の呼名を受け、堂々とした態度で卒業証書を受け取りました。卒業生を代表して、住江千理さんが答辞を読み上げ、会場を感動でいっぱいにさせました。最後は、思い出とともに全校生徒で校歌を歌い、旅立っていきました。この3年間で得た仲間、知識や経験を大切にそれぞれの道で活躍してくれることと期待しています。



## サークル紹介

# われもこうの会



われもこうの会は平成28年4月に発足しました。以前から手芸をされ袋物、ブローチ、小物など日常さり気なく身につけている人、着物のリメイクで洋服やバックなど手掛けている人、登山を介して友情を深め、いつも何かにチャレンジしている人、心豊かに笑顔はじめて他者を和ます人、それぞれ皆個性的で持ち味のある8人が不思議な成り行きで縁を結び、自然体で結集しました。



それ以来、月1～2回えとこセンターなどで集まり、女子力を高める活動をしています。

えとこセンター2階の大広間を借り、午前9時頃から夕方5時近くまでの一日、日頃の情報交換と手芸作品作りに精を出します。

えとこセンターは、テーブルに針箱、裂地、型紙、アイロン、ミシンなど広げても充分広く、とても便利に使用出来ます。

おしゃべりも楽しみ、手芸に没頭しながらも、ほっと一息気持ちを休める極上空間なのです。

幸いにも、メンバーの中に指導者がいるという強みと、心をつなげて同じ作品作りに取り組むという仲睦まじさがこの会の趣向であり安心感です。

また、毎年9月には(過去4回)長永寺を借りて、本堂にて、手仕事に際立って素晴らしい作品を展示させていただき、合わせて手芸作品や着物のリメイク品、手作りパン、季節の果物など、多数の方々の協力を得て、展示、販売をいたします。

穴粟スイーツと抹茶のおもてなしもあり、穴粟内外の多くの方が千種町を訪ねて下さり、その活気と優しい言葉に励まされ勇気付けられます。

われもこうの会がこれまで展示会を続けてこられたのは、多くの人々のお力添えがあればこそと感謝の気持ちでいっぱいです。

年を重ね全員がシニア世代となりましたが、5感の働く限りこの会を続けていきたいと話しています。

これからもどうぞ宜しくご指導ご支援いただきますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスで閉鎖の日々が続いています。どうぞご自愛くださいますようお願い申し上げます。

われもこうの会 一同



紹介します

## 【合気道 穴粟市千種道場】

『合気道 穴粟市千種道場』は、毎週木曜日【19:00～20:00】にセンターちくさ(大ホール・和室)で練習しています。子どもから大人までを対象に、「健康増進と心身の鍛錬」「武道的身体操作と技の習得」「異世代間の交流」を目的に活動しています。みなさんも一緒に身体を動かしましょう！

「合気道」とは、開祖・植芝盛平翁(1883～1969)が日本伝統武術の奥義を究め、さらに厳しい精神的修行を経て創始した現代武道です。

- ▲和の武道：強弱を競うのではなく、互いに技を繰り返し練習し心身を鍛えることを目的としています。
- 護身技：腕や身体をつかまれた時の離脱法や、上級者になれば対刃物に対応する技なども練習します。
- 身体操作：技には左右裏表の動きがあり、全身をバランスよく使います。身体を中心や脱力、呼吸法などによる身体操作を練習します。



※見学や参加のお問合せは、山田 耕造さんまで(TEL0790-76-2186)(公財)合気会公認 兵庫合気会所属

新型コロナ特措法に基づく「緊急事態宣言」の発令に伴い、現在、活動を自粛しています。

## 弔うということ ～ちくきのお葬式～



昨年、母が逝きました。入院していたA病院で、「ご臨終です。」と告げられたのは、朝の5時38分でした。眠っている母の傍らで落ち着かない時間をもてあましながら、8時まで待って、私が最初に電話をかけたのは隣保長さんです。「母がなくなりました」「お世話をおかけしますがよろしくお願ひします」と伝えました。「わかりましたご愁傷様です」との返事があって電話は切れます。母のお葬式はその短いやりとりから、全てが肅々と進んでいきました。

ちくきのお葬式は、それぞれの隣保で、昔から受け継がれてきたやり方に従って、おおよそ次のように行われます。まず、男衆と女衆が、それぞれ今年の葬式当番の指図に従って準備を始めます。つちのこホールとの交渉、非時（ひじ）の段取り、墓の掃除、会葬御礼ハガキと香典返しの手配、受付の設営、駐車場及びその系の配置、諸々の買い物、書き物（記録）係、お寺さんとの打ち合わせ、竹切り、死者に持たせる葬列の飾り物作り、マイクロバスの手配、誰もが仕事を休んで、一日半の奉仕です。当然のように仕事や務めを休みます。勤め先も「隣保のことなら」と許してくれます。

喪家には、訃報を聞いた近所のみなさんが、次々に悔やみに来てくださいます。仲の良かったおばちゃんたちが、寝ている死者に話しかけます。「そがいにも悪かったんかいな、見舞いも行かんでごめんじゃで。」「きれいな顔しとってじゃわ、苦しんじゃなかったんじゃろな。」「わたしらも苦しまんとしてたええがな。」「姉ちゃん、私ももうじき逝くでな、待ってよ。」

思い出話に花が咲き、寝ている、冷たくなった死者の手を握り、涙まで流してくださいます。ありがたい思いで胸がいっぱいになります。おばちゃんたちは、それぞれに嫁いできて、近所に住んだという出会いを共に生きてきた戦友なのです。そんな思い出に浸っていることもお構いなしに、眠っているバアチャンの枕元ではひ孫が走り回ります。畳に足を取られ、滑って死者の上に転んだりもします。でも今日は、大きな声で叱る者は居ません。「ジジババの葬式、孫の正月」なんて表現がありましたねえ。子どもたちは、ちょっといつもとは様子の違うことに気づきはじめます。人の死が身近にあります。幼い子どもたちは「死」をはじめて体感するのです。

一方、つちのこホールでは、男女がそれぞれにぎやかに葬式と通夜の準備を整えます。隣保のみんなが顔をそろえる機会はそんなに多くありません。不謹慎ながら、なんとなく楽しい気分になったりもするのです。話の弾みで、死者の悪口も言い放題です。「性の悪いばあさんやった」と、昔、子供の頃に叱られた思い出話に、大きな笑い声が響いたりします。物や金には換えられない情が行き交うのです。これが「弔う」ということだとしみじみ思います。最近、家族葬も増えてきました。TVからは「小さなお葬式」のコマーシャルも流れています。自然葬とかいって、海へ遺骨を帰したり、樹木の根っこに葬ったり、葬式の形もいろいろです。「隣保に迷惑をかけるでな。」「もううちは誰も住んで、ようおつきあいせんでな。」、合理的です。それもようわかります。しかし、人は周りの人々に、迷惑をかけまくって生きとんやから、死んだ時くらい、いっぱい迷惑かけたらえんとちゃーうんかな。世話になった喪家のもんが、勝手なことを言うてます。



(春名 勉)



## ペンリレー 第5回

平瀬 明彦さん



## Q 仕事は何しよってんですか？

電気工事をしています。主に新築・リフォームなどの電気配線やテレビアンテナ・エアコン取り付け。電気に関係する事をなんでもこなしています。

## Q 新型コロナウイルスが終息し、自粛がとけたら何がしたいですか？

旅行に行きたいです！何も気にせずにのんびりぶらぶらと。

## Q 今年度妙見夏まつりの計画状況をやるう会を代表して、地域の皆さんに一言お願いします。

今年度の夏まつりは残念ながら中止となりました。けれども来年にむけての充電期間だと思い、コロナ終息が見えてきましたら盛大に盛り上がるようなイベント・企画を用意しますので期待しておいてください。

## Q 最後に一言

世界的に大変な時ですが自分のできる事を精一杯こなしてこの困難を乗り越えましょう！



## 宗栗市消防団 千種支団 第1分団 第2機動部 の紹介

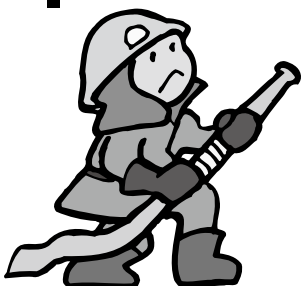


日頃から地域住民のみなさまには消防団活動に、ご理解とご協力をいただき心より御礼申し上げます。第2機動部は、団員11名で活動しており、ここ10年ほどで約半数になりました。また、町外に住んでいるものや日中は町外で仕事をしているものが殆どですので、有事の際には地域の自主防災をはじめ、OBの方々や地域住民のみなさまのご協力をいただいておりますこと、団員一同感謝しております。

また、第2機動部では、妙見社夏祭りの際にブースを一つ設けさせていただき、地域のイベントの盛り上げりに少しでも貢献できればと考えております。今後、ご要望がございましたら、第2機動部までお知らせください。

我々の本分は地域住民のみなさまの安心と安全を守ることです。40代前半から20代前半まで幅広い年齢層の団員ですが、一人一人が消防活動の意義を理解し、消防技術の向上にむけて取り組んでおります。平成26年には西播操法大会において第1分団が優勝し、兵庫県操法大会において準優勝という成果を上げることができました。これも、日頃の訓練のたまものであり、これまで千種町消防団の先輩のみなさまがつくってくださった消防活動の礎によるものと考えております。今を生きる我々が、今の安心安全をつくとともに、未来の安心安全にもつながっていると信じ、今後益々、精進して参りたいと思います。

最後になりましたが、団員の家族のみなさまには、日頃の活動にご理解とご協力をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。



# 生まれ変わる『まち推』!!

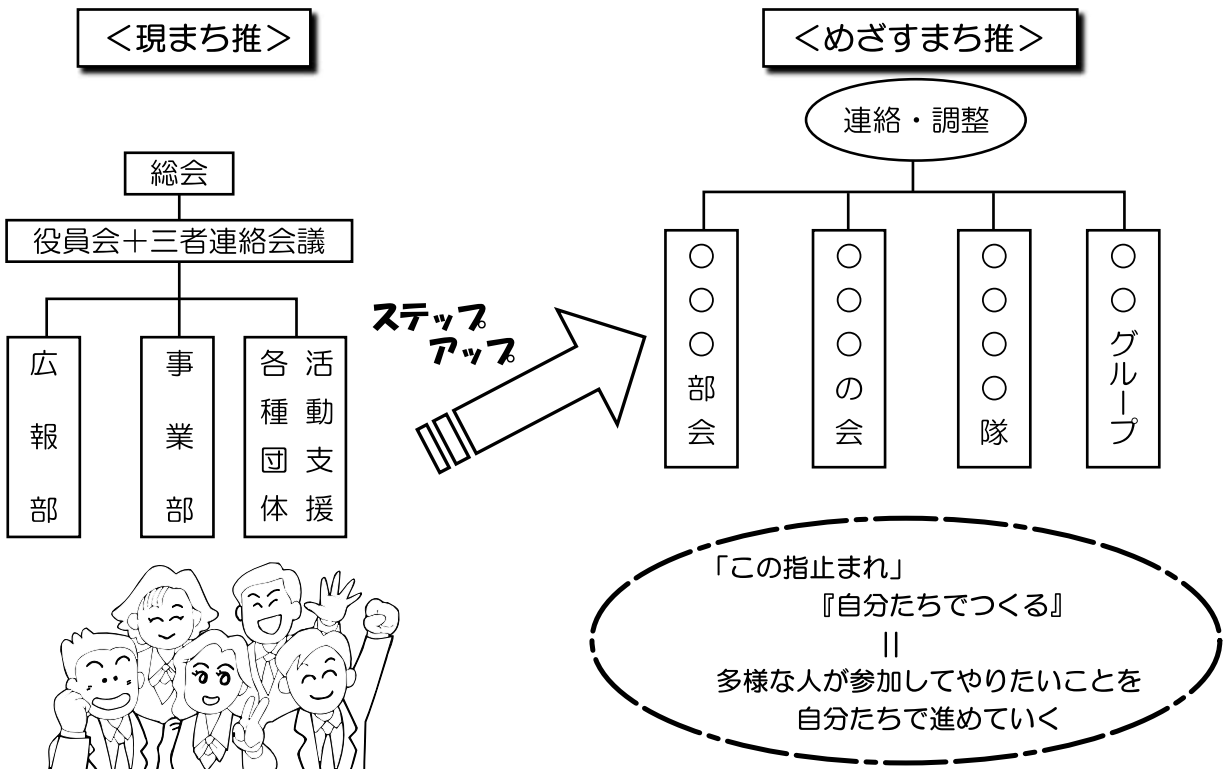
## ～「みんなでつくる」千種のまちづくりをめざして～

何故、いま地域自治（まちづくり）なのでしょう。千種町の現状をみると少子高齢化は勿論のこと、行政による財源や人材不足等による公共サービスの限界がみえるなか、地域課題や困り事を初めとして私たちの日常的な暮らしの維持自体も難しくなっています。

このようなか、昨年度よりまち推・連合自治会・行政の三者による「三者連絡会議」を発足しました。そして地域づくりのアドバイザーを招き、課題や困りごとに自分たちのこととして取り組んでいくために、どのようなまちづくりをめざしていけばよいのか1年かけて議論をしてきました。

- ・年代、性別を問わずみんなが参加しやすいまちづくりの仕組みに変えていく
- ・千種の皆さんの思いを大切にしながら一緒に進めていく
- ・各種団体も含めた千種町全体をつなぐような組織をつくっていく
- ・本年度1年間を掛けて組織の見直しをしていく

今後、以上の4点に留意しながら「千種の皆さんと一緒に『まち推』を変えていきたい」と思っています。



千種の皆さんが集える組織をつくり、「こんなまちにしたい」という想いのもと、千種の魅力や課題にやり甲斐と楽しみを感じながら取り組んでいけるように「まち推をステップアップ」させたく思います。

今後、「自分たちでつくる」千種のまちづくりをめざして順次取組を進め、ステップアップを図ります。アンケートのお願いや集いへの案内、そして取組への参加など、お願いすることがありますが「ええまちやがなあ」と暮らし甲斐のあるまちを創るため、皆さん方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

# 「宍粟鉄を保存する会」にご支援を

みなさんは「宍粟鉄を保存する会」をご存じですか？私たちのふるさと宍粟は、古代から鉄を作り、とりわけ中世以降は「干草鉄（宍粟鉄）」という銘柄で有名になったところ。備前刀の原料鉄に干草鉄が大きな役割を果たしたことも知られています。

干草鉄というのは、現在の千種町・一宮町北部・波賀町など宍粟市北部で生産された鉄で、「宍粟鉄」ともいいますが、干草鉄という名前の方が全国的によく知られています。

日本古来の鉄づくりは「たたら製鉄」と呼ばれ、砂鉄を木炭で燃やし鉄を取り出しました。明治初期に西洋から溶鉱炉で鉄鉱石をコークスで燃やす近代製鉄が伝わるまで、たたら製鉄は行われていました。たたら製鉄が行われていた場所は「鉄山跡」と呼ばれます。西河内天児屋鉄山跡は国内最高の近世鉄山跡として学会でも高く評価されています。

「宍粟鉄を保存する会」は、これら、ふるさとに遺っている有形無形の文化遺産の保存に貢献するとともに、これらの遺産が私たちに何を語りかけているのかを聴きとり、ふるさとの再生に取り組んでいきたいと考えて平成19年に設立されました。現在の会員数は約40名。そのうち千種町在住の10名程度が「たたら里ちくさガイドの会」を立ち上げて、細々とではありますが活動しています。昨年度は、県民局のご支援も得て、「たたら製鉄体験講座」や「たたら製鉄シンポジウム」を開催しました。また、長年にわたり地域の文化の向上に貢献したとして、令和元年度兵庫県ともしびの賞を受賞したりもしました。どうか今後とも宍粟鉄を保存する会にご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

不躰なお願いですが、当会は運転資金もマンパワーも不足しています。この度、令和元年度の本会の活動記録集（A4版35ページ）を作成いたしました。一冊500円でちくさえとこセンターにて販売いたしております。お買い求めいただければありがたく存じます。また、本会の趣旨に賛同し、会員として活動していただける方も同センターへご一報ください。お待ち申し上げます。

ちくさえとこセンター TEL0790-71-0230



令和元年度記録集・論考

## ♡ こんにちは 赤ちゃん ♡

赤ちゃん写真大募集！  
新しい可愛い家族を紹介してください。



河内  
はやし こはく  
林 琥珀ちゃん

父 敦志さん  
母 久美子さん

【メッセージ】  
生まれてきてくれてありがとう！  
お姉ちゃんお兄ちゃんと仲良く元気に育ってね☆

